

# アンケート質問表

次の 8 枚のアンケート表を郵送し調査を実施した。

回答用紙は同封の返信用封筒を使用し、回答者自身が投函して回収。

# 団塊の世代の皆様に関するアンケート調査

## 《アンケート調査ご協力についてのお願い》

入間市の労働・生涯学習・高齢者福祉等各事業の実施、運営につきまして、日頃より格別のご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、戦後の日本に大きな影響を与え、今日の経済・文化・ライフスタイルさらに多様な価値観の基礎を作りあげてきました、いわゆる団塊の世代と呼ばれる昭和22年から24年生まれの皆様（全国で約700万人当市は約9,000人）が一斉に定年を迎えるにあたり、今後、入間市の就業や雇用をはじめとする超高齢社会の様々な問題について、検討、対応するため、団塊の世代の方々に（無作為1,000人を対象）アンケート調査を実施させていただくことになりました。

今後は、いただいたアンケート結果を踏まえ、市のまちづくり計画やより効果的な事業運営のために活かしてまいりたいと考えております。

つきましては、大変お手数をおかけし恐縮ですが、趣旨をご理解いただきアンケートにご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

なお、お答えいただいた内容は、この調査の目的だけに利用し、秘密の保持には万全を期しますので、率直なご意見、ご感想をお寄せください。

平成18年11月  
入間市

### ◆ご記入にあたってのお願い

- 1 このアンケートは、市内居住の昭和22年から24年生まれの方1,000人を対象としています。（11月1日時点）
- 2 お答えは、当てはまる回答番号に○印を指定された数だけお付け下さい。また、「その他（ ）」と回答される場合には、（ ）の中に具体的にその内容をご記入ください。
- 3 1ページから最後まで、質問順にお答えください。指示がある場合は、指示に従ってお答えください。
- 4 質問中の「あなた」とは、宛名のご本人をさします。
- 5 ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒で、  
11月30日までにご返送くださいますようお願い申し上げます。

【この調査についてのお問い合わせ先】 TEL 2964-1111（代表）  
入間市役所環境経済部商工課（内線4255・4256）  
" 生涯学習部生涯学習課（内線4122・4125）  
" 福祉部高齢者福祉課（内線1342）



★日ごろのおつきあいについてお答えください。

問7 日ごろどのような方とおつきあいが多ですか。(1つだけに○)

- |                 |            |
|-----------------|------------|
| 1. 勤務先の同僚・仲間    | 2. 地域の住民   |
| 3. 古くからの知人・友人   | 4. 家族・親戚   |
| 5. ほとんどつきあいはない。 | 6. その他 ( ) |

問8 近隣の方とはどのようなおつきあいをしていますか。(1つだけに○)

1. ほぼ毎日行き来している。
2. たまに立ち話をする程度である。
3. 顔が合えば挨拶する程度である。
4. ほとんどつきあいはない。
5. その他 ( )

問9 あなたは、地元の自治会に加入していますか。(1つだけに○)

- |                   |             |
|-------------------|-------------|
| 1. 加入している。        | 2. 加入していない。 |
| 3. 今後加入しようと考えている。 | 4. わからない。   |

【問9で、「1. 加入している。」に○を付けた方にお聞きします。】

問10 自治会とのかかわりはどの程度ですか。(1つだけに○)

1. 会の役員をしている
2. 積極的には会合や行事に参加している
3. 時々イベントに参加する程度
4. 掃除などの当番だけはやる
5. ほとんど参加しない
6. その他 ( )

★60歳以降の生活設計についてお答えください。

問 11 これからのあなたの生活の中で変化が見込まれることのうち、関心のあることは次の中でどんなことですか。(1つだけに○)

1. 収入や経済的な支え
2. 行動範囲や情報源、情報量の変化
3. 精神的な張りや生きがい
4. 交友関係
5. 余暇時間の増大とその使いみち
6. 夫婦二人だけで過ごす時間
7. 健康の維持と管理
8. 家庭や地域での役割
9. その他 ( )

問 12 これからの生活の生計手段として何を想定していますか。(1つだけに○)

1. 年金収入
2. 就労による収入
3. 事業からの収入
4. 預貯金等の財産収入
5. その他の収入 ( )

問 13 これからの生活設計についてどのようにお考えですか。(1つだけに○)

1. 具体的な計画や考え方を持っている。
2. 具体的ではないが前向きに考えている。
3. 今後考えていかなければならないと思う
4. 考えていない。
5. その他 ( )

問 14 これからの生活で重視したいのはどんなことですか。(1つだけに○)

1. 家庭生活
2. 仕事・事業
3. 市民活動・NPO活動
4. 趣味・ライフワーク
5. その他 ( )

**★60歳以降の就労などについてお答えください。**

**問 15 何歳まで仕事をしたいですか。(1つだけに○)**

1. 60歳～65歳未満
2. 65歳～70歳未満
3. 70歳以上
4. 特に仕事をしたいとは思わない →問 23にお進みください。

**問 16 どのような仕事をしたいですか。(1つだけに○)**

1. 現在の仕事を続けたい(雇用の継続を希望する)
2. 趣味や特技を生かした仕事
3. 社会的な貢献度の高い仕事
4. どんな仕事でもよい
5. その他 ( )

**問 17 どのようなかたちで収入を得たいですか。(1つだけに○)**

1. 常勤で安定した収入を得たい
2. パート勤務などで手軽な収入を定期的に得たい
3. アルバイトや日雇いなどで必要なときだけ収入を得たい
4. 自分で事業を起こしたい(起業したい) →問 22にお進みください。

**問 18 どのように仕事を探そうと考えていますか。(1つだけに○)**

1. 求人広告などの情報を見て直接申し込む
2. 職業安定所(ハローワーク、パートサテライト)等の紹介を受ける
3. 人材派遣などを行う事業所に登録する
4. 友人や知人の紹介
5. その他

**【問 18 で、「3. 人材派遣などを行う事業所に登録する」に○を付けた方にお聞きします。】**

**問 19 シルバー人材センターは高齢者の就業機会の拡大を図り、福祉の増進と地域社会に寄与する公益団体ですが、シルバー人材センターを知っていますか。**

1. 知っている
2. あることは知っているが内容がわからない
3. 知らない

問 20 シルバー人材センターを利用したいと考えますか。(1つだけに○)

1. 利用したい
2. 利用しない(その理由 )
3. わからない

問 21 起業に関して市はどのような支援をすべきだと思われますか。(2つまで○)

1. 相談窓口の設置
2. 起業に役立つ情報の提供
3. 起業に関する講習会などの開催
4. 補助金、奨励金制度の創設
5. その他 ( )

★市民活動やボランティア活動についてお答えください。

問 22 今後、市民活動やボランティア活動、NPO 活動などに参加する意向がありますか。(1つだけに○)

1. 自分で市民活動団体や NPO 法人を立ち上げて活動したい
2. 現在ある団体に加入して活動したい
3. 施設や行政のボランティア募集に応募して活動したい
4. ボランティアセンターなどに登録して活動したい
5. 特に考えていない
6. その他 ( )

【問 22 で、「1. ある」に○を付けた方にお聞きします。】

問 23 どのような市民活動やボランティア活動に取り組みたいですか。

(いくつでも○)

1. 高齢者や障害者への支援や介助に関する活動
2. 育児や子育ての支援に関する活動
3. 自然環境の保全に関する活動
4. 地域の清掃や交通安全など生活環境の改善に関する活動
5. まちづくりを促進させるような活動
6. 学校教育や社会教育を支援するような活動
7. どのような活動でもよい
8. その他 ( )

問 24 市民活動などの促進に関して市はどのような支援をすべきだと思いますか。  
(いくつでも○)

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1. 相談窓口の設置        | 2. 活動に役立つ情報の提供  |
| 3. 活動に関する講習会などの開催 | 4. 補助金、奨励金制度の創設 |
| 5. その他 ( )        |                 |

★趣味・ライフワークについてお答えください。

問 25 これからの趣味・ライフワークとしてどのような活動がしたいですか。  
(1つだけに○)

- |            |             |         |
|------------|-------------|---------|
| 1. スポーツ    | 2. 旅行       | 3. 文化鑑賞 |
| 4. 創作活動    | 5. 自然に親しむ活動 | 6. 研究活動 |
| 7. その他 ( ) |             |         |

問 26 市内にある次の施設を利用したことがありますか。(該当する番号に○)

施設名	利用したことがある	利用したことがない	今後利用したい
公民館 (各地区)	1	2	3
図書館 (各地区)	1	2	3
博物館	1	2	3
市民体育館	1	2	3
地区体育館	1	2	3
武道館	1	2	3
運動公園 (体育施設)	1	2	3
中央公園 (体育施設)	1	2	3
黒須運動公園 (体育施設)	1	2	3
市民会館	1	2	3
産業文化センター	1	2	3
文化創造アトリエアミーゴ	1	2	3
農村環境改善センター	1	2	3

問 27 今後どのような生涯学習活動に参加したいと思いますか。(いくつでも○)

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1. 公民館の学級講座事業  | 2. 公民館のサークル活動   |
| 3. 博物館の展示会や講座  | 4. 図書館の活用       |
| 5. 各種スポーツ活動    | 6. 大学等が主催する公開講座 |
| 7. 民間カルチャースクール | 8. その他市の行う学習事業  |

★市の施策などについてお答えください。

問 28 市の施策や事業の情報は、どのように入手されますか。 (いくつでも○)

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1. 市役所の窓口       | 2. 市報などの市の配布物 |
| 3. 地区の回覧板       | 4. 市のホームページ   |
| 5. 知人・友人        | 6. 入間ケーブルテレビ  |
| 7. FM茶笛 (チャッピー) | 8. その他 ( )    |

問 29 今後、超高齢社会を豊かなものとするために、広く市民を対象にどのような施策を展開することが必要だと思えますか。 (いくつでも○)

1. 生涯学習環境を充実させて、多くの市民が生涯を通じて学習活動を継続できるような条件を整備する
2. 地域的な活動を活性化して、コミュニティー活動を高めるような事業を展開する
3. 若年期から健康づくり事業を充実させ、健康運動習慣を身に付けることにより疾病予防につなげていく
4. さまざまな市民活動を支援することにより、幅広い世代が交流しながら共に社会的な活動ができるような団体を育成する
5. これからの社会保障制度や生活設計についての学習の機会を設け、早くから高齢期を見据えた心構えができるよう啓発する
6. その他 ( )

★今後の市政全般について、自由なご意見をお聞かせください。

アンケートは以上で終わりです。ご協力誠にありがとうございました。

